DDCS (Dilts Diagnotis Clear System) Z125 PRO 用取扱説明書

この取扱説明書はDDCSの取り付け方や使い方について解説しています。 本書をよくご理解の上、正しくご使用ください。本機は Z125 PRO 専用です。他のバイクには使用できません。

DDCS Z125 PRO は Kawasaki Z125 PRO の診断コネクタに接続し、ECU 内に蓄積されたエラーのみを消去します。 取り付けると内部のエラーの種類をバイクのエンジン警告灯(FI ランプ)に表示させます。(注: DDCSの確認ランプではありません)エンジン警告灯に表示される内部エラーの詳しい情報につきましては、Z125 PRO のサービスマニュアルをご覧ください。

1. 取り付け方



Z125 PRO のシートを外し、診断コネクタのカバーを爪を内側から外側に引っ張りながら外します。 DDCSのコネクタをカチッと音がするまで、Z125 PRO の診断コネクタに取り付けます。

2. 使用方法



DDCSを正しくバイクへ取り付けた後、Z125 PRO のイグニッションキーを回して、バイクをキーON にします。

DDCSの確認ランプが<u>点滅します</u>。エンジン回転中はエラー消去ができませんので、必ずエンジンは始動させないで下さい。DDCSの確認ランプはECUにエラーが発生していても発生していなくても、電源ONで点滅します。確認ランプが点滅しないときは、コネクタが正しく接続されていません。

ECU にエラーが発生していると、バイクのメーターにあるエンジン警告灯 (FIランプ) がエラー内容に従って点滅します。エラー内容につきましては、サービスマニュアルを参照してください。(エラーが発生していない場合、エンジン警告灯は点灯したままです。キーOFF にして本機を取り外してください。)エンジン警告灯の点滅の仕方は、例えば 02 センサー異常のときは、サービスコード「33」が表示されます。点滅の仕方はピーピーピーピッピッピッピ(長い点滅を 3 回、そのあとに短い点滅を 3 回)となります。インジェクターの不具合の場合「41」ピーピーピーピーピーピッ(長い点滅 4 回、短い点滅 1 回)。点火コイルの不具合の場合「51」ピーピーピーピーピーピーピーピーピーピッ(長い点滅 5 回、短い点滅 1 回)。

エラーが出力されている場合、エラーの原因を特定し修理、復旧を行ってください。エラーを解決していないとDD CSでエンジン警告灯を消灯させても、走行するとエンジン警告灯は再び点灯します。

DDCSの消去ボタンを押してください。ボタンが押されると一瞬DDCSの確認ランプが消え、しばらくしてDDCSの確認ランプが点灯します。これでエラー消去完了です。

一瞬確認ランプが消えた後、再びDDCSの確認ランプが<mark>点滅</mark>し始めたときは、エラー消去ができていません。 再度消去ボタンを押しても同様のときは、エンジン回転中かエラーの原因が取り除かれていませんので、エラーの原 因を取り除いた後、エンジン停止中に再度トライしてください。

エラーが消えたことを確認するために、エンジンを始動させます。メーター内のエンジン警告灯(FI ランプ)が消灯していることを確認してください。エンジンを停止させ、DDCSを取り外してください。

取扱上の注意

- ・本製品は、精密機器です。落としたり乱暴に扱ったりしないでください。また本製品は防水ではありません。雨や水がかからないようにしてください。
- ・コネクタや線を無理に引っ張ったりしないでください。コネクタを抜くときは、コネクタの爪を解除し、線を引っ張らないで必ずコネクタ本体を引っ張ってください。
- ・本製品を取り付け/取り外しを行うときは、必ずイグニッションキーを OFF の状態で取り付け/取り外しを行ってください。

使用上の注意

- ・Z125 PRO はDDCSを接続していないとき、イグニッションキーを ON にすると、ECU にエラーがない正常状態でも、エンジンを始動するまで、エンジン警告灯(FI ランプ)は点灯状態となります。エンジンを始動したときエンジン警告灯が消灯した場合、ECU にエラーはありません。
- ・DDCSを接続したとき、イグニッションキーを ON にすると、ECU にエラーがない時、エンジン警告灯は点灯状態 となり、エラーがあるときは、エラーコードで点滅します。
- ・エンジン回転中はエラー警告灯を消灯させることができません。エラー警告灯を消灯させる場合は必ずイグニッションキーを ON にしてエンジンを始動しない状態の時に行ってください。
- ・本製品は、ECUのリセットを行うものではありません。
- ・本製品はエラー発生原因をリセットするものではありません。エラーランプを消灯させてもエラーの原因を特定して解決していない場合は、走行すると再びエラー警告灯が点灯します。